

令和 8 年 1 月 19 日  
総務常任委員会資料  
消防本部警防課・救急課

## 令和 7 年の火災・救急・救助概要について

加古川市消防本部

# 火 災 概 要

## 1 火災件数

- (1) 令和7年の火災件数は95件で、前年と比較すると5件の増加となっています。
- (2) 火災種別ごとの火災件数を前年と比較すると、「建物火災」は53件で3件の増加、「林野火災」は5件で5件の増加、「車両火災」は5件で3件の減少、「その他火災」は32件で増減なしとなっています。
- (3) 火災件数のうち「建物火災」の占める割合は55.8%となっています。

火災種別 市町	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	増 減 数
加古川市	42	5	3		24	74	－ 2
稲 美 町	9		1		6	16	＋ 7
播 磨 町	2		1		2	5	±0
合 計	53	5	5	0	32	95	＋ 5
増 減 数	＋ 3	＋ 5	－ 3	±0	±0	＋ 5	

## 2 被害程度

### (1) 人的被害

ア 火災により、61世帯117人がり災しています。

イ 「死者」は3人で、前年と比較すると増減はなく、「負傷者」は24人で、11人の増加となっています。

区分 市町	り災世帯数 (世帯)	り災人員 (人)	死 者 (人)	負 傷 者 (人)
加古川市	59	114	1	19
稲 美 町	2	3	2	4
播 磨 町				1
合 計	61	117	3	24
増 減 数	＋ 19	＋ 23	±0	＋ 11

## (2) 物的被害

ア 建物火災の焼損床面積は 1,240 m<sup>2</sup>で、前年と比較すると 1,159 m<sup>2</sup>の減少となっています。

イ 建物火災による損害額は 9,277 万 2 千円で、前年と比較すると 1 億 1,874 万 4 千円の減少となっています。

市町	区分	焼損床面積 ( m <sup>2</sup> )	焼損床面積 増 減 数 ( m <sup>2</sup> )	損 害 額 ( 千 円 )	損 害 額 増 減 数 ( 千 円 )
加 古 川 市		1,047	－ 687	83,192	＋ 20,928
稲 美 町		193	－ 472	4,144	－ 145,071
播 磨 町		0	±0	5,436	＋ 5,399
合 計		1,240	－ 1,159	92,772	－ 118,744

## 3 出火原因

主な出火原因は「たき火・焼却火」が 27 件で全体の 28.4%と最も多く、次いで「放火」が 9 件、「こんろ」が 6 件となっています。

市 町	加 古 川 市						稲 美 町						播 磨 町						合 計
火災種別 原因	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	小 計	
たき火・焼却火	4	5			13	22	2				3	5						0	27
放 火	5				3	8						0					1	1	9
こ ん ろ	6					6						0						0	6
電 気 機 器	4					4						0	1					1	5
電灯・電話等の配線	3					3	1		1			2						0	5
配 線 器 具	3					3						0			1			1	4
た ば こ	4					4						0						0	4
炉	2					2	1					1						0	3
電 気 装 置	1				1	2						0	1					1	3
溶接機・切断機						0	2					2					1	1	3
ス ト ー ブ	2					2						0						0	2
灯 火	1					1	1					1						0	2
マッチ・ライター					1	1						0						0	1
取 灰					1	1						0						0	1
放火の疑い					1	1						0						0	1
そ の 他 ( 上記以外 )	6		3		3	12	2				2	4						0	16
不 明	1				1	2					1	1						0	3
合 計	42	5	3	0	24	74	9	0	1	0	6	16	2	0	1	0	2	5	95

#### 4 その他災害の活動状況

- (1) 令和7年のその他災害件数は1,206件で、前年と比較すると135件の減少となっています。
- (2) 主な種別ごとに前年と比較すると、「危険物排除」は75件で11件の減少、「誤報」は137件で30件の減少、「救急支援」は826件で100件の減少となっています。
- (3) その他災害件数のうち、「救急支援」の占める割合は68.5%となっています。

種 別	内 容	加古川市	稲美町	播磨町	他 市	小 計	合 計	増減数
危険物排除	施設等から危険物の流出	1				1	75	-11
	交通事故等による油流出	54	13	7		74		
燃焼物排除	たき火・焼却火	22	7	1		30	31	+1
	火あそび			1		1		
警戒・警備	異臭・異音	2		1		3	17	-12
	危険物流出事故の警戒	3				3		
	防災ヘリ等の離着陸場の設定、誘導、警戒	7		1		8		
	建物等の倒壊、落下に対する警戒	1				1		
	鎮火後の現場警戒	2				2		
誤 報	自動火災報知設備等の誤作動又は誤操作	90	9	8		107	137	-30
	火災と見誤ったもの (たき火の煙、水蒸気等)	25	2	1		28		
	虚偽の通報	2				2		
水 防	風水害等の活動又は警戒					0	0	-8
調 査	事後に知り得た災害事故調査	7	1	2		10	10	+2
救 急 支 援	心肺機能停止状態が疑われる場合の支援	509	86	55		650	826	-100
	安全管理を要する道路における支援	91	2	13	2	108		
	傷病者の搬出における支援	29	3	7		39		
	その他	20	7	2		29		
そ の 他	上記の種別に該当しないもの	85	18	6	1	110	110	+23
合 計		950	148	105	3	1,206	1,206	-135

# 救 急 概 要

## 1 救急出動件数

(1) 令和7年の救急出動件数は19,251件、搬送人員数は17,367人で、前年と比較すると救急出動件数は622件減少(−3.1%)、搬送人員数は655人減少(−3.6%)しています。

(2) 救急出動件数は1日平均52.7件(前年54.3件)で、27.3分(前年26.5分)に1回の頻度で救急出動しています。また、1日の最多救急出動件数は95件(前年104件)となっています。

(3) 現場到着所要時間の平均は8.9分(前年比±0分)となっています。

市 町	救急件数	増減数	搬送人員数	増減数
加古川市	15,433	−478	13,903	−478
稲美町	1,896	−34	1,747	−55
播磨町	1,905	−113	1,705	−122
他 市	17	+3	12	±0
合 計	19,251	−622	17,367	−655

## 2 事故種別ごとの救急出動件数

事故種別ごとの救急出動件数については、「急病」が12,666件で最も多く、前年より564件減少し、全体の65.8%を占めています。

事故種別 区 分	急病	一般負傷	交通	転院	その他	合計
件 数	12,666	3,061	1,259	1,378	887	19,251
比 率	65.8	15.9	6.5	7.2	4.6	100
増減数	−564	−58	−73	+85	−12	−622

※割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

## 3 傷病程度別の搬送人員数

傷病程度別の搬送人員数については、「中等症」が7,715人で最も多く、前年より380人減少し、全体の44.4%を占めています。

傷病程度 区 分	軽症	中等症	重症	死亡	合計
人員数	7,185	7,715	2,190	277	17,367
比 率	41.4	44.4	12.6	1.6	100
増減数	−257	−380	−27	+9	−655

※割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

#### 4 年齢区分別の搬送人員数

年齢区分別の搬送人員数については、「高齢者」が10,776人で最も多く、前年より361人減少し、全体の62.0%を占めています。

年齢区分 区 分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
人員数	9	1,061	742	4,779	10,776	17,367
比 率	0.1	6.1	4.3	27.5	62.0	100
増減数	－4	－68	－46	－176	－361	－655

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

#### 5 病院収容所要時間別の搬送人員数

（１）救急事故の覚知から傷病者を病院に収容するまでに要した時間は、「30分以上60分未満」が11,552人で最も多く、全体の66.5%を占めています。

（２）病院収容所要時間の平均は39.1分（前年比－0.3分）です。

所要時間 区 分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均 所要時間
人員数	3	359	4,050	11,552	1,344	59	39.1分
比 率	0.0	2.1	23.3	66.5	7.7	0.3	
増減数	＋1	－5	＋52	－628	－67	－8	

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

※統計表中の「0.0」は、単位未満の数を示しています。

#### 6 心肺機能停止傷病者の救命率

一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者58人のうち、「1か月後生存者数」は6人（1か月後生存率10.3%）、「1か月後社会復帰者数」は4人（1か月後社会復帰率6.9%）となっています。

区分 年	心肺機能停止 傷病者数	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者数				
			1か月後 生存者数	1か月後 生存率	1か月後 社会復帰者数	1か月後 社会復帰率
令和7年	359	58	6	10.3%	4	6.9%
令和6年	358	67	11	16.4%	6	9.0%

# 救 助 概 要

## 1 救助出動件数

- (1) 令和 7 年の救助出動件数は 393 件で、前年と比較すると 26 件増加しています。
- (2) 事故種別ごとの救助出動件数は、「建物等による事故」が 223 件（56.7%）と最も多く、次いで「交通事故」が 60 件（15.3%）となっています。

事故種別 市町	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
加古川市	43	47	2		2	168	2	43	307	+ 2
稲美町	6	11	2			22	1	2	44	+ 18
播磨町	1	1	1			33		4	40	+ 5
他 市	1	1							2	+ 1
合 計	51	60	5	0	2	223	3	49	393	+ 26
増減数	+ 16	- 1	±0	±0	- 1	+ 17	- 4	- 1	+ 26	

※「建物等による事故」とは、建物内での「挟まれ」や「閉じ込め」、また、「施錠された建物内での安否確認」等も含まれています。

## 2 事故種別ごとの救助人員数

- (1) 救助人員数は 191 人で、前年と比較すると 14 人の増加となっています。
- (2) 事故種別ごとの救助人員数は、「建物等による事故」が 122 人（63.9%）と最も多く、次いで「交通事故」が 30 人（15.7%）となっています。

事故種別 市町	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
加古川市	2	26	2		1	100	2	21	154	+ 2
稲美町	1	4	2			11	1	2	21	+ 10
播磨町			1			11		4	16	+ 3
他 市									0	- 1
合 計	3	30	5	0	1	122	3	27	191	+ 14
増減数	- 2	±0	+ 2	±0	±0	+ 11	- 2	+ 5	+ 14	

### 3 傷病程度別の救助人員数

(1) 傷病程度別の救助人員数を前年と比較すると、「死亡」は 57 人で 11 人の増加、「重症」は 24 人で 3 人の増加、「中等症」は 44 人で 3 人の減少、「軽症」は 28 人で 6 人の減少となっています。

(2) 傷病程度別の救助人員数で、最も多いのは「死亡」で、全体の 29.8%を占めています。

事故種別 傷病程度	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	その他 の事故	合計	増減数
死 亡	2	4	4			44	2	1	57	+ 11
重 症		1			1	20		2	24	+ 3
中等症	1	8				29	1	5	44	- 3
軽 症		14	1			8		5	28	- 6
その他		3				21		14	38	+ 9
合 計	3	30	5	0	1	122	3	27	191	+ 14
増減数	- 2	±0	+ 2	±0	±0	+ 11	- 2	+ 5	+ 14	



## 災害等の受信状況

### 1 119 番通報受信件数

(1) 令和7年の119番通報受信件数は25,710件で、前年と比較すると854件減少(-3.2%)しています。

(2) 119番通報受信件数は、1日平均70.4件(前年72.6件)で、20.5分(前年19.8分)に1件の頻度で受信しています。

種別	令和7年	令和6年	増減数
火災	244	158	+86
救急	18,084	18,642	-558
救助	304	293	+11
その他災害	299	316	-17
いたずら	33	370	-337
間違い	1,453	1,080	+373
その他	5,293	5,705	-412
合計	25,710	26,564	-854

### 2 119 番通報以外の手段による災害の受信件数

令和7年の119番通報以外の手段による災害の受信件数は1,664件で、前年と比較すると170件減少(-9.3%)しています。

手段	令和7年	令和6年	増減数
加入電話	1,132	1,244	-112
警察電話	68	87	-19
駆け付け	104	101	+3
NET119	4	1	+3
FAX119	2	0	+2
緊急通報サービス	77	74	+3
その他	277	327	-50
合計	1,664	1,834	-170